



## 健康だより

## 梅毒感染が拡大しています!!



## ■梅毒の発生状況

全国的に、**男性20～50代、女性は20代が突出して増えている**と発表されています。県内でも過去10年間で最も多い感染者の届け出数となっており、検査体制や啓発活動が十分でないなか、感染が拡大している状況が危惧されています。

## ■梅毒とは

梅毒トレポネーマという病原体により引き起こされる感染症で、性的接触（性器と性器、性器と肛門、性器と口など）により、口や性器などの粘膜や皮膚から感染する性感染症の1つです。感染をしても特に症状が現れない、「不顕性感染」の人が約7割いますが、潜伏期間を経た後に症状が現れる方が3割となっています。

## 主な症状は？

## 第Ⅰ期【感染後数週間】

感染した場所（性器、肛門、口など）に、できもの、しこり、ただれなどができます。治療しなくても、数週間で症状は消失します。

## 第Ⅱ期【感染後数か月】

第Ⅰ期の症状がいったん消えた後に、1～3か月たつと、手のひらや足の裏など全身に発疹が出ます。治療しなくても、数週間～数か月で症状は消失します。

## 晩期梅毒【感染後数年】

皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍が発生するほか、心臓、血管、脳などの複数の臓器に病変が生じ、時には死にいたることもあります。



## 特に妊娠中の梅毒感染は危険です!!

妊娠している人が梅毒に感染すると、母親だけでなく胎盤を通じて胎児にも感染し、死産や早産になったり、「先天梅毒」（赤ちゃんの目や耳、神経や骨などに異常をきたす）を引き起こす可能性があります。

## ■予防と検査と治療

パートナー同士の感染有無の確認が、まん延防止のために必要です。不特定多数との性行為、感染者との性行為を避けることが感染予防の基本です。また、コンドームの適切な使用により感染リスクを減らすことができます。

症状があるときや、不安なときは、あなたと大切なパートナーを守るためにも、早めに検査を受けましょう。

梅毒は、早期に治療すれば抗生物質の注射薬や内服薬で治すことができます。

## 12月1日は世界エイズデー



世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO（世界保健機関）が1998年に制定したもので、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。エイズはHIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することで発症します。HIVに感染しても、すぐにエイズを発症するわけではなく、自覚症状がないまま数年が経過する間に免疫力が低下し、本来なら自分の力で抑えることができる感染症や病気を発症するようになります。HIVの感染経路は次の3つです。①性行為による感染、②血液を介しての感染、③母子感染。HIV感染症の治療薬・治療法は飛躍的に進歩し、エイズの発症を予防したり遅らせたりすることができるようになり、エイズを発症しても治療で免疫力を高めることが可能です。そのため、早期発見・早期治療が重要となります。

長崎県内の各保健所で性感染症（梅毒、HIV、クラミジアなど）の**無料検査**が行われています。**予約が必要です**。各保健所の連絡先はこちらよりご確認ください。⇒[梅毒の感染を予防しよう | 長崎県 \(pref.nagasaki.jp\)](http://www.pref.nagasaki.jp)

